



ワイヤープランツ

常緑／低木／木本植物／外来種



科名 タデ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い
草本扱い（保証の観点より）

ワイヤーのような光沢ある褐色の細い枝と、細かな丸い葉をこんもりとさせる姿に人気がある。もともとは、室内で生育する観葉植物だったが、関東南部など、戸外でも冬場に0℃以上ある地方では越冬している。ニュージーランド原産のタデ科の匍匐(ほふく)性常緑低木。



Memo

生長期の枝先を10センチほど切り、水差しに活けるだけでインテリアグリーンとして利用できる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
花	期	(花は目立たない)					■							
果	実	(観賞には向かない)						■						
紅	葉													
施	肥	■			(痩せ地でなければ不要)									
剪	定	■											(生長に合わせて適宜剪定)	

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強		○	弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
			○				

ポイント

半日陰でも生育するが、日当りのよい方が元気に育つ。しかし、強い日差しや高温多湿は苦手。水切れすると葉がチリチリになるので注意。霜に弱いので寒い地方では、軒下や南面が適している。

剪定

寄せ植えやフェンスに絡めて利用できる。匍匐(ほふく)性はあるが、自力では絡まないなので、誘引し留める必要がある。不要な枝を切り戻せば、すぐまた新芽を伸ばしてくる。

病虫害

カイガラムシやハダニが発生することがある。ハダニは葉が乾燥すると発生しやすくなるので、夏場は特に水切れしないようにするとよい。